



第一鋼業株式会社

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年12月21日～ 2024 年12月20日)



更新した新型炉1-17号

発行日： 令和7年1月10日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、取組結果の評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	13

□ごあいさつ

環境を考えることは企業の重要な責務です。有害物質を出さない事、リサイクルの輪を断ち切るような製品を出さない事、省資源の考え方などを基本に製品作りをすることが我々に課せられた使命と考えます。この考え方を基本にして製品作りをすすめるとともに環境にやさしい次世代の処理を探究しもの造りに専念いたします。

第一鋼業株式会社

代表取締役社長 妻藤 誠

環境経営方針

<環境経営理念>

第一鋼業株式会社は金属剪断刃物・機械部品の製造及び金属熱処理加工を行う工場としての事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に取り組むと同時に、環境経営の継続的改善を行います。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制とその削減につとめます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 洗浄剤などの化学薬品の適正管理に努めます。
- 6 . 環境に配慮した生産活動を進めます。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2017年7月16日

代表取締役社長 妻藤 誠

□組織の概要

更新日：2025年12月20日

- (1) 名称及び代表者名
第一鋼業株式会社
代表取締役社長 妻藤 誠
- (2) 所在地
本 社 大阪市西成区南津守6-3-22
本社工場 同 上
九州工場 福岡県北九州市若松区南二島2丁目25番1号
東京営業所 東京都大田区東六郷3丁目9番9号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部 宇野 眞博 TEL:06-6651-8368
- (4) 事業内容
金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工
- (5) 事業の規模
売上高 132,670 万円 (2024年度)
- | | 本社 | 九州工場 | 東京営業所 | 合計 |
|-------|----------------------|--------------------|-------------------|----------------------|
| 従業員 | 62 名 | 8 名 | 3 名 | 73 名 |
| 延べ床面積 | 4,705 m ² | 500 m ² | 88 m ² | 5,293 m ² |
- (6) 事業年度 前年12月21日～12月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 第一鋼業株式会社
対象事業所： 本社・工場、九州工場、東京営業所
活動： 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

□事業や製品(商品)の紹介



環境処理用粉碎刃



熱間用シャーナイフ



スクラップシャーナイフ



ライナー

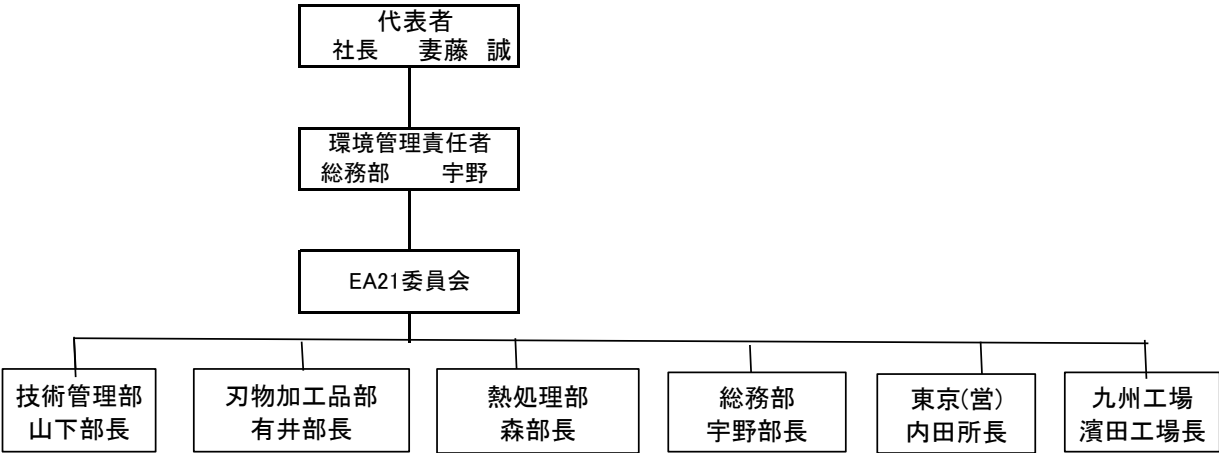


スライドウェイ



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年12月20日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量 (1)	kg-CO ₂	2,628,578	2,474,004	3,258,326	2,688,788
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	15,721	7,877	7,069	7,462
産業廃棄物排出量 (2)	kg	51,918	137,987	97,504	72,945
総排水量	m ³	5,954	6,112	5,776	5,535
二酸化炭素排出係数	0.419 kg-CO ₂ /kWh	2015年度関西電力の調整後係数			
(1) 2024年灯油排出量	8031?? kg-CO ₂ /kWh	を含みます			
(2) 2024年有価売却	75350?? kg	を含みます			
(3) 2024年原油換算	1,299 kL				

□環境経営目標及びその実績

2025年度EA21環境目標 (※SDGs取組関連目標も含む)
2020~2022年度基準比 2.0%削減

- (1)電力による二酸化炭素削減
 - (2)都市ガスによる二酸化炭素削減
 - (3)自動車燃料による二酸化炭素削減
 - (4)一般廃棄物の削減(コピー用紙)
 - (5)産業廃棄物の削減
 - (6)水道水の削減
 - (7)洗浄剤使用量削減
- 及び環境に配慮した生産活動(改善、安全衛生、5S、ISO9001、BCP)

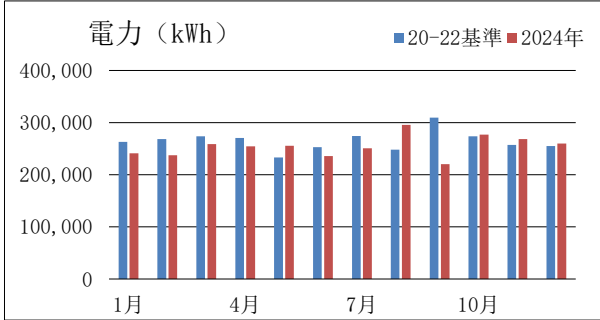


年 度 項 目		基準値	2024年		評 価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,314,293	1,288,007	1,280,092	○	1,288,007	1,274,864
	基準年度比	20-22基準	98%	97%		98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,248,342	1,223,375	1,111,804	○	1,223,375	1,210,892
	基準年度比	20-22基準	98%	89%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	57,831	56,675	55,426	○	56,675	56,096
	基準年度比	20-22基準	98%	96%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2,620,466	2,568,057	2,447,321	×	2,568,057	2,541,852
一般廃棄物の削減(コピー紙)	kg	883	865	770	○	865	856
	基準年度比	20-22基準	98%	87%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	30,868	30,250	20,040	○	30,250	29,942
	基準年度比	20-22基準	98%	65%		0.98	0.97
水道水の削減	m ³	5,954	5,835	5,535	○	5,835	5,775
	基準年度比	20-22基準	98%	93%		98%	97%
洗浄剤使用量削減	kg	140	137	0	○	137	136
	基準年度比	20-22基準	98%	0%		98%	97%
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)					

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組み

数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	機械は作業者の育成もすすんだこともあり夜間作業時間を多く生産の効率化、残業時間前年比5%減少については達成率は145%となったが研削工場の残業時間が9月以降減少したことがある。熱処理は焼入れ炉の充填率、稼働率の監視を続け月単位で分析することは現状の作業ベースにおいて有効であり、引き続き、各焼入れ炉の分析を行う。電力デマンドは昨年に続き目標内にはおさえましたが新設定の基準値が厳しく未達
・空調温度の適正化(冷暖房28/20℃前後での適正)	○	
・機械、研削工場生産の効率化残業時間計画比5%減少	○	
・各エアコンフィルターの清掃点検(省エネ/パトロール時)	○	
・デマンドオーバー監視(740kwh以下)に抑える	○	
・バッテリーフォークリフトのメンテナンス(月次・半年・年次)	○	



取組紹介欄



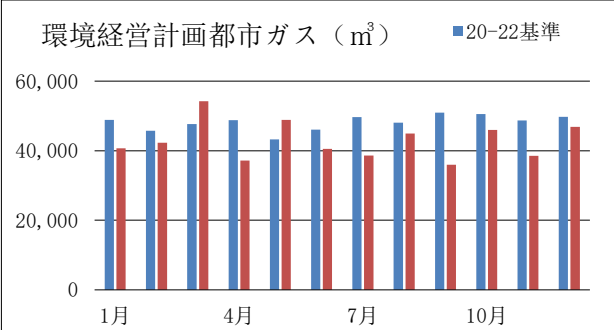
こまめにON/OFF

次年度の取組内容

来期は窒化炉の増設があり実際に稼働運用してみないと場合により設定値が大幅にオーバーされることも予想される引き続き使用量の監視し適切な設定値をみきわめたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	262,956	268,260	273,660	270,761	233,149	252,994	274,324	247,944	309,501	273,886	257,040	254,774
2024年	241,072	237,659	258,669	254,749	255,498	235,675	250,614	295,365	220,384	277,150	268,588	259,683

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	総じて大型ガス熱処理炉の稼働が少なかったこともある、リジェネバーナは期待の省エネ効果はあるものの生産量に影響をうけている、来期は更新した新しい117号炉の稼働、素材工場の入荷量に応じてガス量は増える見込みの為デマンド設定値を現状の206m ³ から210m ³ に変更するが設定値を超えないように監視していきたい
・都市ガスデマンドによる管理(205m ³ 以下)	○	
0	○	
・省エネ法に対応する管理基準の点検表運用	○	
・省エネ法定期報告書、中長期計画書作成	○	



取組紹介欄



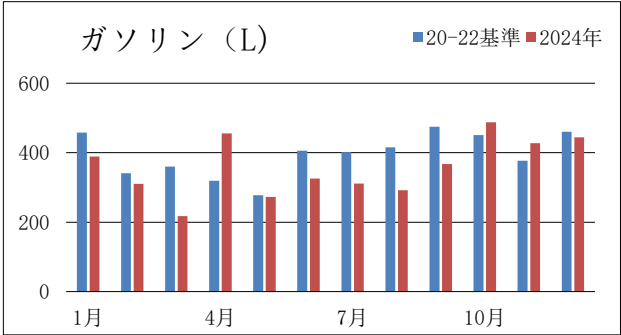
更新した1-17号炉のPLCシーケンス

次年度の取組内容

来期は更新した新しい117号炉の稼働、素材工場の入荷量に応じてガス量は増える見込みの為ガスデマンドの設定値を現状のから変更するが設定値を超えないように監視していきたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	48,885	45,709	47,638	48,747	43,218	46,040	49,677	48,083	50,937	50,556	48,684	49,762
2024年	40,709	42,281	54,254	37,199	48,820	40,540	38,641	44,975	35,984	45,959	38,510	46,852

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	後半は目標達成月も増えてきて最終的には基準目標内にはおさまった。リース満了時に低燃費車の検討とともに引き続き配送の効率化なども検討したい。アイドリングストップは取引先構内において当然のことで、社内でももっと注意して意識してもらえるよう啓蒙していく。生産管理など目標値をきめてくれて達成されているのも効果がでている 急のつく運転、アイドリングストップなど安全運転はエコにつながるから基本的なことから維持していきましょう
・月別売上と運搬費の比率0.5以下を管理していく	△	
・アルコール検査、体調管理、法令順守、無事故、無違反	○	
・ガソリン、軽油の使用量を監視する東京営業所	○	
・アイドリングストップ推進(生産管理課、営業)	○	



取組紹介欄

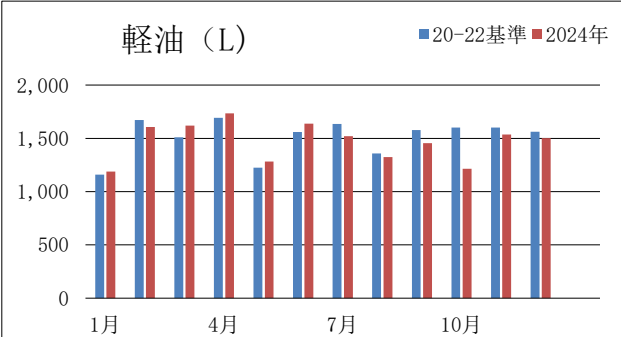


優先購入

次年度の取組内容

ガソリン営業車はリース満了時に低燃費車の検討とともに引き続き配送の効率化なども検討したい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	458	341	360	319	277	406	402	415	475	451	377	460
2024年	389	310	217	455	273	326	311	292	367	488	428	444



取組紹介欄



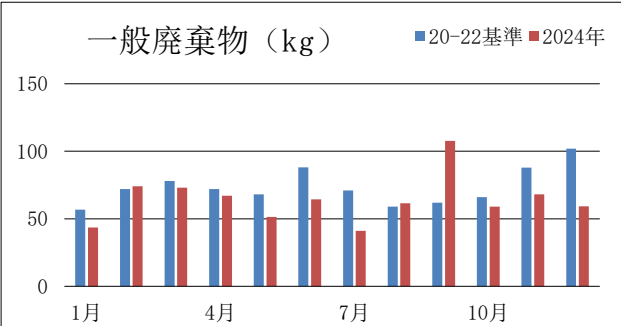
入れ替えたピックアップトラック

次年度の取組内容

トラック利用のためディーゼル車は基本的なアイドリングストップや安全運転を心がけ省エネ化につなげたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	1,160	1,672	1,510	1,693	1,226	1,560	1,635	1,357	1,577	1,600	1,600	1,562
2024年	1,187	1,608	1,619	1,734	1,281	1,637	1,521	1,323	1,454	1,215	1,535	1,502

一般廃棄物の削減(コピー紙)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	コピー用紙の利用は基準をみなおしてやや甘くなったのか結果は順調ですがでもまだまだ削減の可能性はあります
・書類の簡素化(集約印刷、裏紙利用、PDF保管)	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・部門単位でのコピー代コスト金額を把握公表(新)	○	
・EA21会議資料の共有フォルダ化等によるコピー削減	○	



取組紹介欄



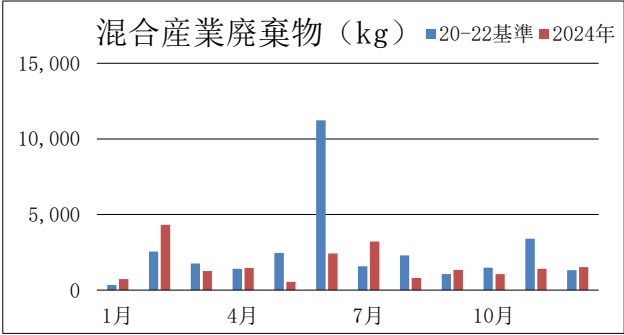
分別方法明示

次年度の取組内容

ごみの削減意識は徐々に浸透してはいるが、ごみの分別についてはなかなか守られていないことがあるのでそこを対策していきたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	57	72	78	72	68	88	71	59	62	66	88	102
2024年	44	74	73	67	51	64	41	62	108	59	68	59

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	発生量のばらつきは収集運搬回数などによる。産廃はスポット量に左右されることから今年は新しく増設する窒化炉のため工作室の物品を片付けたりし増量はしている今後、産廃の発生場所及び品目に注意して削減をしていきたい。
・材料の歩留まり向上(材料会議)	○	
・加工ミスによるロス低減確認(ISO9001品質会)	△	
・機械、研削工場タンク内清掃で水溶性廃液の削減	△	
・法定報告	◎	



取組紹介欄



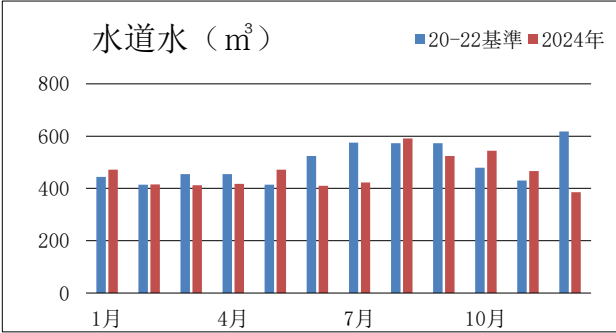
低濃度1基PCB7/31処分

次年度の取組内容

今年は稼働中の低濃度PCB変圧器の入替を予定していたが古く特殊仕様のため代替機にできるものがなく別注だと高額になる　ここまで来たら炉の更新を機に処分を検討して行きたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	349	2,547	1,763	1,403	2,456	11,229	1,569	2,298.267	1,056	1,486.600	3,389.167	1,319.867
2024年	720	4,313	1,253	1,470	543	2,415	3,213	800	1,327	1,065	1,400	1,522

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	基準年からすると達成できた。累計では削減効果があらわれているが昨年給湯ポンプを修理したこともあり本来の使用量として考えられるだけでもある
・節水シールの貼り付けと意識づけ掲示を継続	○	
・機器メンテナンス～定期的な漏水箇所点検	△	



取組紹介欄



各漏水箇所修理

次年度の取組内容

数か所の水漏れが見つかる定期的な水漏れはチェックするとともに機械関係の日常点検、老朽化部分に注意を払っていきたい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20-22基準	444	414	455	455	414	524	575	573	573	479	430	618
2024年	472	415	413	418	472	411	423	592	525	544	467	386

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	新しい窒化炉の増設は脱硫剤などの購入量、アンモニアなどの特定化学物質の管理対象につながるので安全衛生上もその使い方、量を適切に把握し注意をしていきたい
・製造課使用薬剤、危険物の取り扱い教育の実施	○	
・試験室で使用する薬品管理(既存と新規購入時)	○	
・熱処理製造部購入の化学物質確認システムの運	○	

取組紹介欄

使用薬品取扱い教育講習



環境新聞(毎年発行)



次年度の取組内容

環境影響も大きいPRTR物質を含む化学薬品の取扱い、今のところ脱硫剤(少量)のみになるが新規の取扱いになる薬品類に関しても安全衛生上の観点からもSDSなどから取扱いに注意していきたい

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
・改善提案実施活動(改善事務局宇野)	141件	改善提案「年度の目標 計72件/人」の目標については141件の改善があり件数については達成されている、改善内容については、自分の業務や期待する環境面だけでなくいくつか安全危険予防の改善も増えたのは良いが潜在的な危険予知はまず気づいたとき事故につながる前にヒヤリハットと提出を促し共有した上で対策していきたいところでもある 改善内容はあいかわらずであるが発明や特許、開発まで期待してはいないので慣れない人の改善入門とすれば否定するほどではない とはいえ簡単小さな工夫でも評価や報奨金に比例しなくても時々感心するようなセンスや上手く文面に書けない隠れた努力を感じる改善もあったりする
・全社5S活動の推進、クリーン作戦の継続実施	○	
・太陽光パネルの運用 発電量監視EA21委員会	○	
・SDGS教育(SDGs、男女共同、人権、健康メンタル	○	
・環境新聞の発行・掲示(不定期)「環境改善いい	○	
・各学校訪問へシェアサイクル利用による求人	○	SDGs教育、5S活動を継続中、上期、下期と年間を通して社内5S改善発表会を開催した。
・もずやんEXPOグリーン募金箱	○	

取組紹介欄

もずやんEXPOグリーン募金箱

【当社の取り組みが大阪万博のカーボンニュートラル実現に貢献】
大阪府が実施する「クレジットを活用した事業者の脱炭素経営促進事業」を通じて、大阪・関西万博のカーボンニュートラルの実現に貢献するため、大阪府に対し、当社の地球温暖化対策の取り組みによるCO2削減データを提供しました。
具体的なCO2削減の取り組み内容は以下の通りです。
【LED照明設備の導入】2023年8月28日本社工場導入
参照URL：
[【「もずやんEXPOグリーン募金箱」～CO2削減量をあつめて万博のカーボンニュートラルに貢献～「HP」](#)
[【大阪府HP寄付実績】](#)

次年度の取組内容

改善実施活動は件数のみではなく創意工夫のある内容向上を意識しながら提出1件/1人当りで継続して全員参加をめざす

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	契約書、適正な収集運搬、保管基準の遵守、適正な処分の確認、マニフェスト交付及び報告書、
騒音規制法	空調機・空圧機
振動規制法	走行クレーン
大気汚染防止法	排出基準の遵守、排出濃度の測定・記録の保管
省エネ法	第2種特定工場の届出、管理者の選任
温暖化対策推進法	対策計画、実績報告
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、定期点検の実施、点検記録の保存
PRTR法	指定化学物質の取扱量把握、SDSの受け取り
労働安全衛生法	SDS義務物質の把握
自動車Nox・PM法	適合する自動車の使用
消防法(危険物)	危険物の管理
PCB廃棄物特別措置法	対象品の届出保管
毒物及び劇物取締法	盗難及び漏えい防止

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されてされていました。
なお、その他については違反、訴訟等は過去3年間ありません。省エネ法に関連した管理基準の作成に対応します。

緊急事態対応訓練 本社工場

緊急事態の想定: 火災消火と津波を想定した避難訓練		
■実施日: 令和6年7月28日	■実施場所: 会社内	
■参加者: 当日、本社に出勤者全員	■実施内容: ・通報訓練(事務所)、自衛消防訓練、避難訓練	
■評価: 消防署立会指導での訓練として西成消防署員が来訪、ポンプからの放水など自衛消防訓練を行った、通報訓練については昨年は現場製造部員が通報する立場として訓練を行ったが今年は事務所員からの通報。最後に水消火器による初期消火訓練と消防署員からは消火器の使い方について詳しく説明頂いた。一連の行動は消防署員からは褒めていただいた	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	本社	水消火器での消火
		

緊急事態対応訓練 東京営業所

緊急事態の想定: 初期消火方法の確認及び避難訓練		
■実施日: 令和6年11月1日	■実施場所: 東京営業所	
■参加者: 東京営業所従業員全員	■実施内容: 初期消火訓練(消火器位置・方法確認) ・大規模火災想定での避難訓練	
■評価: ・良かった点 現地に赴くことで、避難経路の確認、避難時間や周辺状況の確認を行えた。実際に消火器を持つ事により、消火時の姿勢の大変さがわかった。①東京営業所避難誘導訓練手順書の確認②消火器の位置を確認。③消火器の使用訓練を行った。 ・コメント 予定通り令和4年9月1日から新規避難訓練場所となった南六郷中学校に行った。東京営業所の裏手にある六郷土手小学校から5分程の距離にあり、避難場所としては十分に近かった。 消火訓練では、関さんから消火器は重くて大変との一言もあった。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	初期消火訓練	東京営業所から中学校まですみやかに移動 緊急避難場所であることを確認
		

緊急事態対応訓練 九州工場

緊急事態の想定: 火災消火と津波を想定した避難訓練		
■実施日: 2024年12月9日(月) 11:00~11:45	■実施場所: 九州工場~避難地 二島市民センター	
■参加者: 瓜生、和田、横田、田代、坂口、野村、濱田 計7名	■実施内容: ・消火器の使い方、工場に設置した消火器の場所 ・火災時の消防署への通報方法 ・火災時の避難と行動	
■評価: 今回も津波も想定し山側への避難 ①和田Gr長が課員と、新人の田代君へ消火器の使用方法的指導と消火方法の説明を行った。 ②道中、気になったポイントや注意点等話し合った。 1.シャボン玉石鹸からダイハツへ向う道に横断歩道が無く、危険な目に合った者のおり注意が必要。 2.ひびき信用金庫から二島市民センターへ向う道路が狭く、車への注意や、歩いている高齢者への配慮が必要。 3.セブンイレブンの進入口は往來が激しい為注意が必要。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	消火器の取扱い等説明後 二島市民センターに集合	
		

□代表者による全体の評価と見直し・指示

二酸化炭素の削減目標について、本社では省エネ法への届け出にもとづく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で年初のEA21委員会において、目標数値をつくり取り組んでいる。今までは2017年度基準(九州工場は2018年東京営業所は2019年)により対比していたが近年の指標として新しい目標基準を見直し3事業所進捗管理を開始し継続していく

＜見直し・指示＞	
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) ・2工場キュービクル低濃度PCB変圧器15KVIは7/31適正処分済、稼働中の231号炉の低濃度PCB変圧器の処理期限が2027年3月31日となっていることを認識しており、その他稼働している潜在的なPCB機器処分が今後の課題となります	◇環境方針 ・231号炉低濃度PCBの処分は特殊仕様でトランスのみ代替品をあてがうことがむずかしいことから炉の更新タイミングでも検討する ・部年年度経営計画に引き続き環境関連項目とSDGsへの取り組みを付記し策定内容を着実に実施してください。現状の方針を継続する。
◇環境目標・活動計画の達成状況 ・電力による二酸化炭素2%削減は、新しい基準年からすると達成されている、都市ガスによる二酸化炭素2%削減等の目標は、大型ガス炉の稼働減の状況にもよるが達成となった。ただし今後は更新したガス炉の稼働と新しい窒化炉の増設で増加の見込みとなるまたそのコストも政府補助の動向に左右されるきびしいものとなっていますが最終的な基準年総量対比では二酸化炭素削減は達成	◇環境経営目標・環境経営計画 ・カーボンニュートラルへの取り組みは熱処理業界全体の課題でもあるが、二酸化炭素の削減目標は、生産量の増減や設備の更新等により、達成状況が左右されるが、小型炉、低温炉の更新は高額な省エネバーナーの導入ではなくとも空気比、温度制御、炉の密封性の見直し等検討し省エネ改善のさらなる実施で二酸化炭素削減目標新基準年比2%削減を目標としましょう
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 2024年度中は近隣苦情や賞賛もなかった。 ・環境上の問題点等 新窒化炉の増設は近隣、特管法、安全衛生法等で問題がないかは検討対処を実施した ・関西万博開催にあたり当社CO2削減量を大阪府に寄付	◇その他 ・熱処理炉への遮熱塗料などのテストを多少の効果はあるのか検討してください ・SDGs教育は継続して計画実施してください。 ・省エネルギーセンターの診断をうけてさらなる効果的な省エネ改善があれば検討してみましょう ・引き続き利用電力のうち再生可能エネルギーを優先購入しましょう。 ・実施体制はEA21委員会を中心に率先して活動を行いましょう。
【今回の評価結果と今後の経営視点】 世界情勢からの燃料費増やカーボンニュートラルへの取り組みは変わらず業界全体の大きな課題であります。 ・新しい省エネバーナーの検討も大事だが、炉密封性の向上や空気比などの見直しなど提案できることを模索していく必要があります。 ・おもわぬ潜在的なPCB含有物がないかは広範囲に注意が必要です。 ・車台数増からの軽油やガソリンそして廃棄物量は熱処理炉の断熱材更新や5S活動の推進で増加した。 ・その他は目標基準比では数値上は達成されている結果でした、今回の結果をレビューして、2025年度計画で改善していきます。	

□これまでの環境活動の紹介

2024年10月24日 西成自衛消防競技大会可搬式ポンプの部では8社中、6位ミス無く、機敏な行動でした。

競技の様子

